



事務連絡
令和3年6月25日

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会
群馬支部長 殿

群馬労働局労働基準部
健康安全課長

令和3年度全国安全週間に係る群馬労働局長メッセージの送付について（依頼）

労働行政の推進につきましては、日頃より格段のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、群馬労働局では、標記メッセージを、例年は、6月中に開催される安全週間準備説明会等において配布させていただいているほか、全国安全週間及び準備月間にあわせ当局ホームページで公開し、安全・安心な職場づくりの気運の醸成に努めているところです。

本年度の全国安全週間及び準備月間においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止から、群馬産業安全衛生大会は中止とされており、また、各地区労働基準協会におかれても一部を除き安全週間準備説明会を中止されたと承知しております。

つきましては、本年度も、群馬労働局長メッセージを別紙のとおり作成しましたので、新型コロナウイルス感染拡大防止のための制約のあることは十分承知しており恐縮いたしますが、貴会傘下会員事業場の安全意識の高揚等にご活用いただきますようお願いいたします。

令和3年度 全国安全週間を迎えるにあたって

全国安全週間は、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、昭和3年に初めて実施されて以来、一度の中断もなく続けられ、本年度で94回目を迎えます。

令和3年度全国安全週間は、

「 持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場 」

のスローガンの下、7月1日から7日までの間、全国で展開されます。

産業安全に携わる関係者の皆様のご理解の下、各種安全管理活動を通じて安全水準は着実に向上してきておりますが、依然として多くの労働災害が発生しております。

群馬県内の労働災害による死亡者数は、令和2年は令和元年と比較して1人減、また、昭和23年に統計を取り始めてから最少の10人となりました。

一方、休業4日以上死傷者数は、昭和54年の6,325人をピークに以降減少しておりますが、近年は増減を繰り返しており、令和2年は令和元年と比較して106人増加の2,507人となりました。

また、平成30年度から令和4年度までを計画期間とした「第13次労働災害防止計画に基づく群馬労働局推進計画」の3年目の取組状況は、死亡者数は3年間の目標数45人に対し41人で8.89%減少となり堅調な推移となっておりますが、死傷者数は最終目標値2,162人に対し2,507人で15.95%の増加となり大変厳しい状況です。

これらのことから、第13次労働災害防止計画の4年目に当たる本年度は、最終目標である、①死亡者数を前計画期間中の総数の15%以上減少、②死傷者数を平成29年と比較して、令和4年までに5%以上減少を達成できるよう、働く高年齢者の増加等の就業構造の変化や、新型コロナウイルス感染症に伴う社会情勢等の変化に対応した、継続的で効果的な更なる取組が求められています。

労働災害を防止するためには、各事業場において、トップ（事業者）による労働災害を撲滅する強い決意と、労使一体となった計画的な取組の推進と実践により、労働災害ゼロの機運を高めることが重要です。

全国安全週間を契機に、労働災害防止の重要性について改めて認識を深めていただき、安全活動の確実な実施をお願いいたします。

なお、今年の全国安全週間については、昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策について十分留意しながら、取り組んでいただきますよう重ねてお願いいたします。

群馬労働局長 丸山 陽一